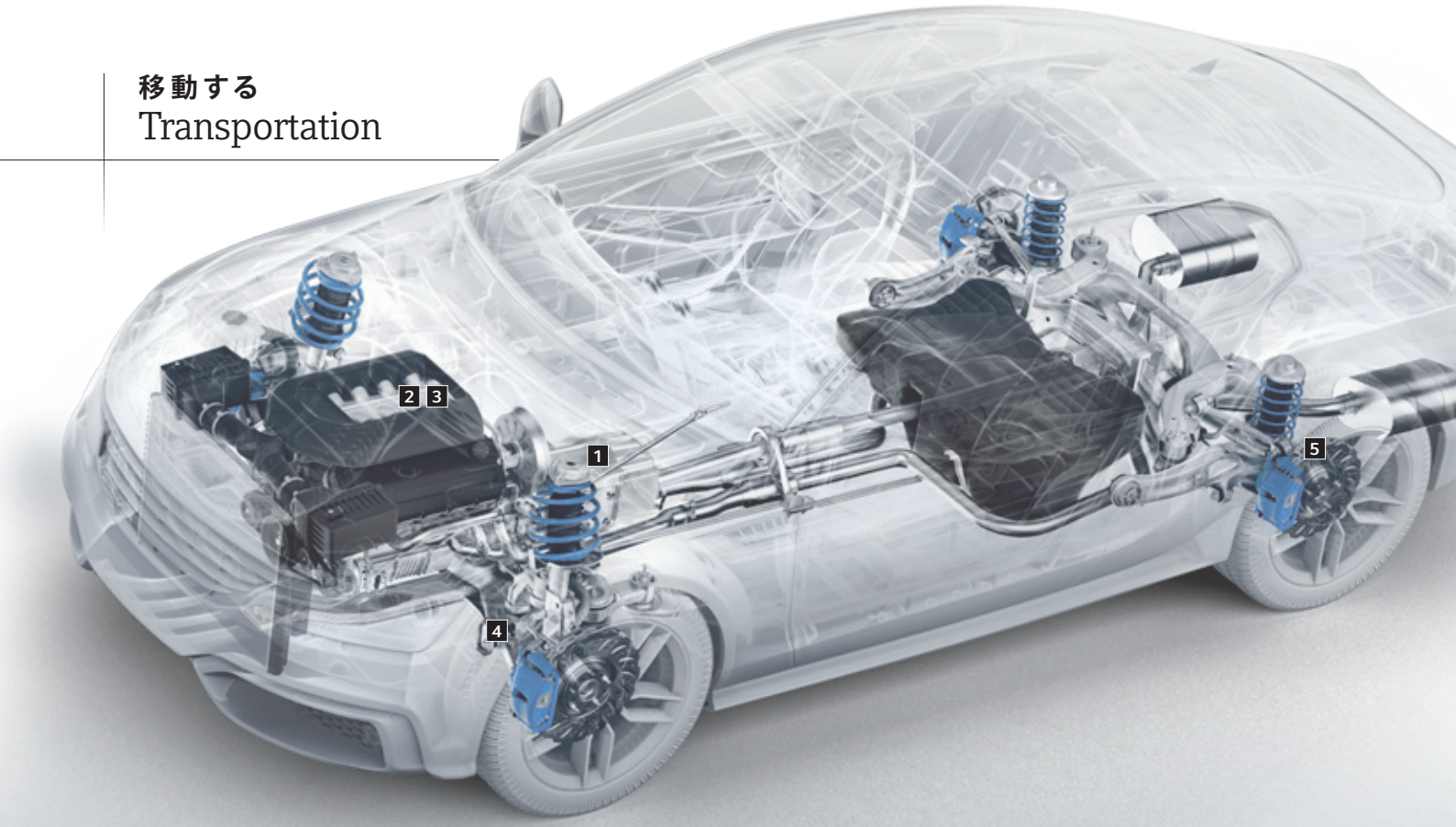
DMG MORI

会社案内

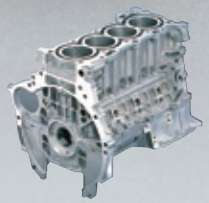
私たちの生活と工作機械

私たちの生活は衣食住に加えて、移動する、通信する、健康に暮らすなどの行動で成り立っています。
そしてそのすべての人間活動に工作機械は欠かせません。例えば自動車は工作機械が削り出した
多数の部品で構成されています。また、ペットボトルは工作機械によって削られた金型に原料を流し込んで
生み出されています。このように、一見関係がないように思える身近な日用品も、実はもとをたどれば
工作機械が関わっています。工作機械の進化によって、私たちの生活はより豊かになります。

移動する
Transportation



1 ギヤボックスハウジング



2 シリンダブロック

3 クランクシャフト

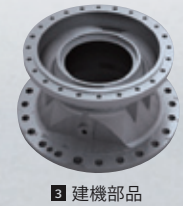
4 CVJ インナーレース

5 ホイールハブ

住む
Living

1 タービンブレード

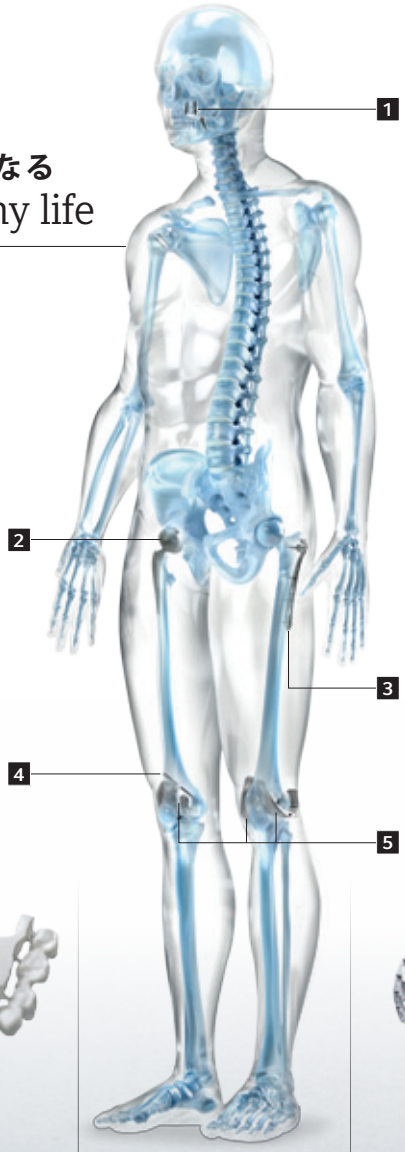
2 ドリルヘッド

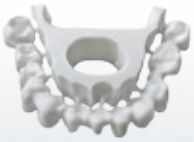


3 建機部品

ポンプハウジング

健康になる
Healthy life





1 義歯

2 ソケット

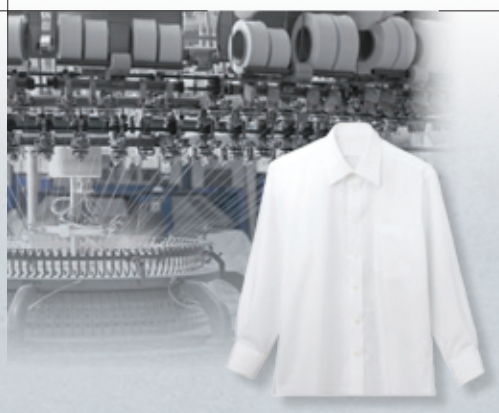
3 股関節

4 骨ねじ

5 膝関節

食べる
Food

着る
Garments



知る
Information

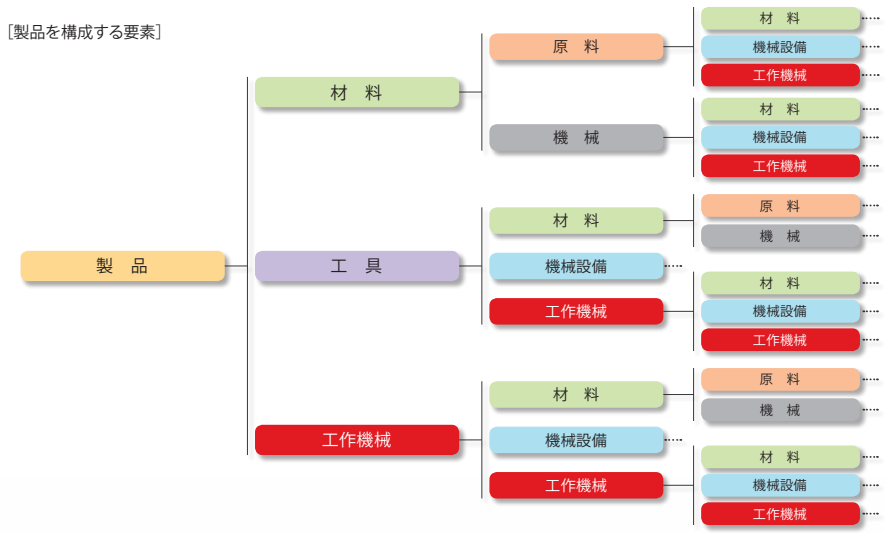
社会生活の原点として

製品を作り出すためには、材料を加工しなければなりません。材料を加工するためには工具、
そしてそれを作り出す機械が必要不可欠です。工作機械は、世界中で日々製品や部品を作り出す源です。
工作機械が精密な製品や部品を作り出すことは、厳しい環境に置かれても走り続ける自動車や、
次々に登場する最先端の通信機器の基盤となっています。工作機械の精度が、最終製品の精度・品質に
大きく影響するのです。DMG MORIは社会生活の原点として、よりよい製品を生み出します。

どんな時代にも必要とされる工作機械

製品にはそれぞれのライフサイクルがあります。資源から原材料が抽出され、加工・置換され、その後製品として製造されます。このライフサイクルの各段階で「工作機械」、「工具」、「材料」の3つの要素が重要な役割を担っています。

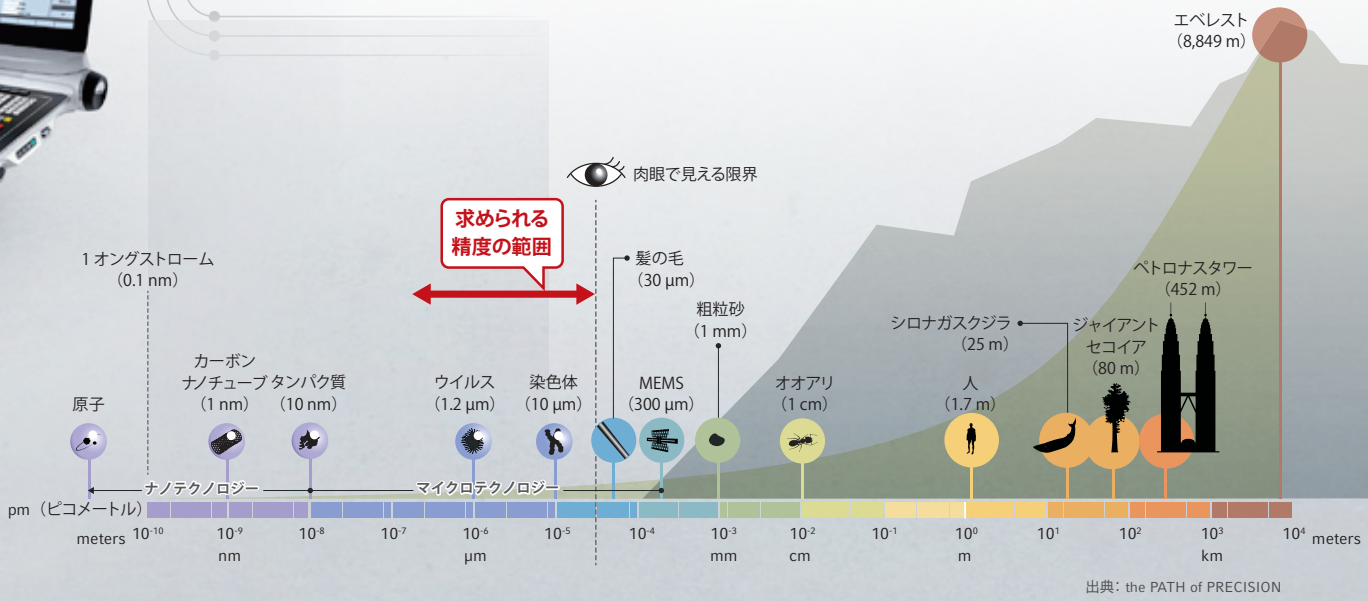
自動車を例にとって考えてみましょう。自動車の部品は、工作機械で直接素材を加工したり、工作機械で削り出した金型を用いて素材を成型して作られています。そして、材料となる素材を作るためにも工作機械が必要です。この先自動車がどんなに進化しても、この構造は変わりません。どれほど時代が進んでも、工作機械はこの世界に欠かせないのです。



1μm以下の精度を追求 ── 工作機械の精度は製品の精度

世の中では常に精密な製品が求められています。精密な製品を生み出すには高精度な部品が必要です。それはつまり、その部品を加工する工作機械にも高い精度が求められているということです。工作機械の精度が製品の品質に大きく影響するのです。

工作機械は肉眼で確認することの難しいμm（マイクロメートル）以下の単位で削ることができます。日々高まる精度への要求に高い技術力でお応えしています。

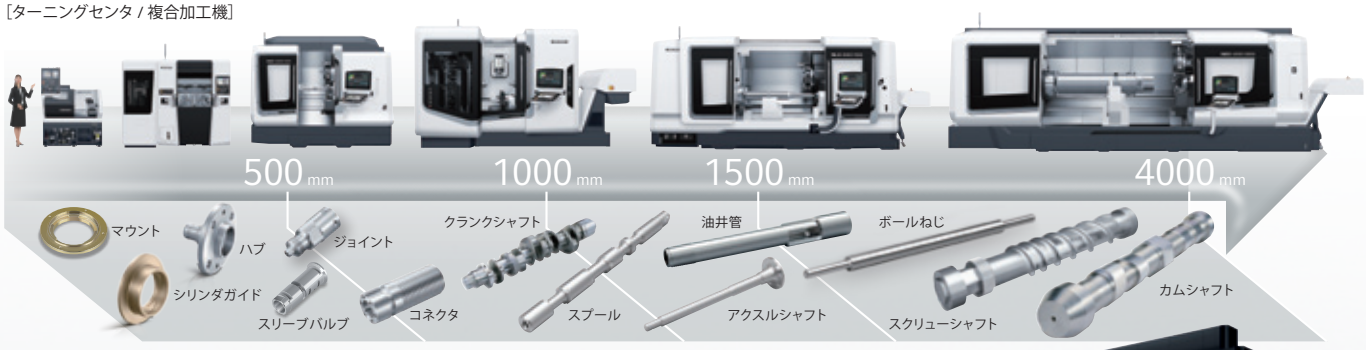


出典：the PATH of PRECISION

日本とドイツの技術を融合した世界最大のラインアップ

DMG MORI は、高性能・高効率な工作機械を提供し続けてきました。
創業以来培ってきた伝統と知恵、全世界の社員の努力と協力の成果が、この豊富なラインアップにつながっています。
お客様のあらゆるニーズ・ご要望にお応えする世界最大のラインアップをご用意しています。

［ターニングセンタ / 複合加工機］

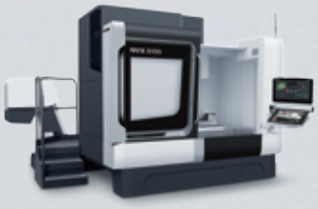


［マシニングセンタ / 5軸加工機］

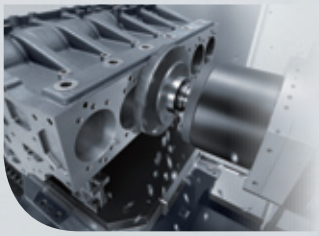
DMG MORI の原点［ターニングセンタ］

1958年に工作機械の生産を始めて以来、国内他メーカーとの徹底した差別化戦略で「旋盤の森精機」の名声を確立しました。現在では、持ち味である旋削能力に、BMT（ビルトインモータ・タレット）がもたらすミーリング能力や移動軸が組み合わされ、多種多様なワークに対応する高剛性・高精度ターニングセンタへと発展しています。

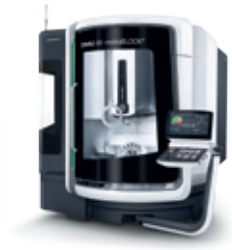
あらゆる業種に対応［マシニングセンタ］



マシニングセンタとは、主に面削り、穴あけ、中ぐり、タッピングなどの回転工具を自動工具交換装置で取り替えながら多種類の加工を行うことを目的に生まれた工作機械です。2016年には、ロボット、自動化システムにも対応可能なCMX Vシリーズを発売いたしました。省スペースな機体に、約290種の多彩なオプションをご用意し、お客様の多様なニーズに対応します。

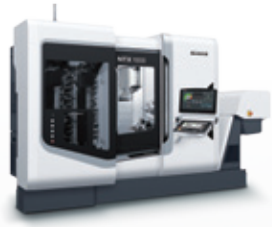


部品加工の常識を変える［5軸加工機］



最先端技術による卓越したミーリング能力、優れた操作性が特長です。多面割出しができる5軸機では、ワンクランプで加工が完了するため、段取り回数の削減や治具の簡素化・省略化が可能となり、工程時間を大幅に短縮することができます。5軸機の旋回軸を利用して最適な角度から工具をアプローチさせることで、3軸機・4軸機では実現できなかった高精度な加工を可能にします。

2つの最先端技術を集結［複合加工機］



複合加工機とはその名の通り、今まで別々の工作機械で行っていた加工を、作業者の手を介すことなく1台の工作機械で行える機械です。ターニングセンタとマシニングセンタの融合による高い加工能力で生産リードタイムを大幅削減し、多品種少量部品から量産部品まで効率よく工程集約することで、お客様に多大な利益をもたらします。

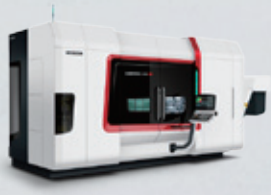
微細加工［レーザ加工機］

成型（幾何学的に定義された表面、複雑な穴加工、刻印など）、微細加工（板金、チューブ、時計および医療関係の3D部品加工）、精密工具製作（カーバイドチップの型 / プレス加工、PCD、CBN、CVDなどの精密工具製作）、そしてパワードリル（航空機エンジンのタービン部品や工業ガスタービンの穴あけ）など、あらゆる金属や新素材に対して低コスト・高効率な同時5軸加工が可能です。

先端素材加工［超音波加工機］

セラミック、ガラス、コランダム、タングステンカーバイド、あるいは複合材料など、一般的に加工が難しいとされる先端素材を、複雑な形状へと効率的に加工することができます。工具の回転に加えてZ軸方向に超音波振動を重ね合わせることで、従来の機械加工に比べて、加工抵抗を最大40%抑制します。ワークのひび割れの抑制、工具の長寿命化につながります。

革新的な最新技術［アディティブマニュファクチャリング］



ミーリングと積層のハイブリッド

世界に先駆けて最先端のミーリング技術にアディティブマニュファクチャリングを融合した、革新的な独自技術です。パウダーノズルから金属の粉体を供給して積層する手法を採用しているため、さまざまな素材の形状を高速に成形することができます。

パウダーベッドフュージョン

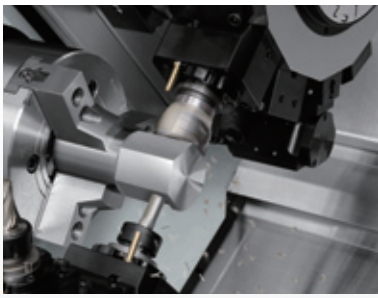
材料粉末を一層ずつ敷き詰め、その後にレーザで照射して任意の部分を溶融させる、パウダーベッドフュージョン方式を採用しており、精密な造形や一から製作する製品造形に適しています。稼動軸が少なく、シンプルな機械構造のため、省スペースな機械設計が可能です。

DMG MORIのイノベーション

工作機械において世界をリードするDMG MORIには、
お客様に常に最新・最適なソリューションをご提案するための技術があります。
トータルソリューションプロバイダとして、工作機械に加えてシステム、ソフトウェア
全てを組み合わせてホリスティックにお客様にご提供いたします。

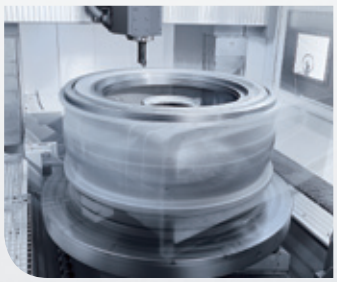
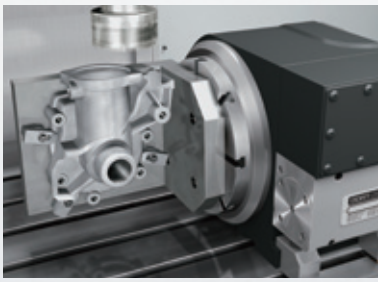
加工精度と切削力の向上［ビルトインモータ・タレット］

従来のターニングセンタのミーリング機構は、モータからギヤやベルトなど多くの部品を介して力を伝達しているため、発熱や振動が広範囲に広がるなどの課題がありました。
それに対してDMG MORIでは、モータをタレット内部に組み込んだ業界初のビルトイン構造を採用し、発熱や振動を最小限に抑制するとともに、伝達効率を向上させることで加工精度と切削力を大幅に高めました。



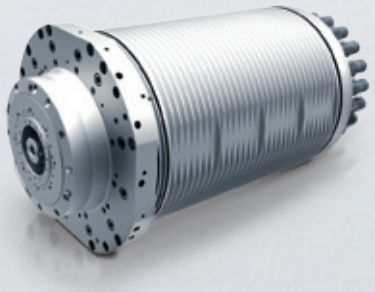
長寿命と省エネの両立［ダイレクト・ドライブ方式モータ］

ギヤを経由せず駆動力をダイレクトに伝達するため高効率駆動を可能とし、バックラッシもありません。また、摩耗部品がないため、メンテナンスフリーと長寿命化も実現しました。
従来のウォームギヤ方式に比べ、伝達効率が大幅に向上したことにより、高速送りを可能にしました。モータは100％内製しています。

業界をリードするコア技術の内製化［スピードマスタ　パワーマスタ］

品質向上と短納期化に加えて、製品開発期間の短縮もふまえた内製化に取り組んでいます。
工作機械メーカーとしては類を見ないボールねじの内製や、部品加工から組立、検査までを一貫して行える主軸工場も立ち上げ、工作機械の精度を左右する主要構成部品の内製化を推進しています。例えば、工作機械の主要構成部品として、加工や組立時に高い精度を求められるのが主軸です。自社開発した主軸は、全世界で培った技術力やノウハウを結集した高い信頼性を誇る最新の主軸です。



機械本体+周辺機器のトータルサポート

DMQP（DMG MORI認定周辺機器）とは、製品の周辺機器において、品質・性能・保守性に優れた製品を厳選し認定するものです。世界70社の機器やソフトを取り揃えており、種類は1,300種超に及んでいます。将来にわたって安心してお客様にお使いいただける製品をお届けするために、優れた周辺機器の提案から納入・保守までをトータルにサポートしています。今後も機器数を増やし、提案力の強化につなげます。

よりシンプルに、スマートに、そして深く。工場とオフィスは“CELOS”でつながる

生産環境をネットワークでつなぐIoT / インダストリー4.0を、オペレーションシステム「CELOS（セロス）」で推進しています。CELOSは、製品のアイデアを完成品に仕上げるまでの工程を簡単な操作で実現し、段取り時間を含めた加工時間を大幅に短縮します。

さらにDMG MORIではいち早くIoT / インダストリー4.0に対応し、ネットワーク接続とソフトウェア、センサを活用することで、全世界の工場で稼働する工作機械の遠隔保守や稼働状況の管理、正確な故障予知など、工作機械の稼働率向上に貢献しています。ネットワークで管理できるスマートファクトリー実現の技術は、DMG MORIの強みです。

4つの要素を組み合わせたトータルソリューション

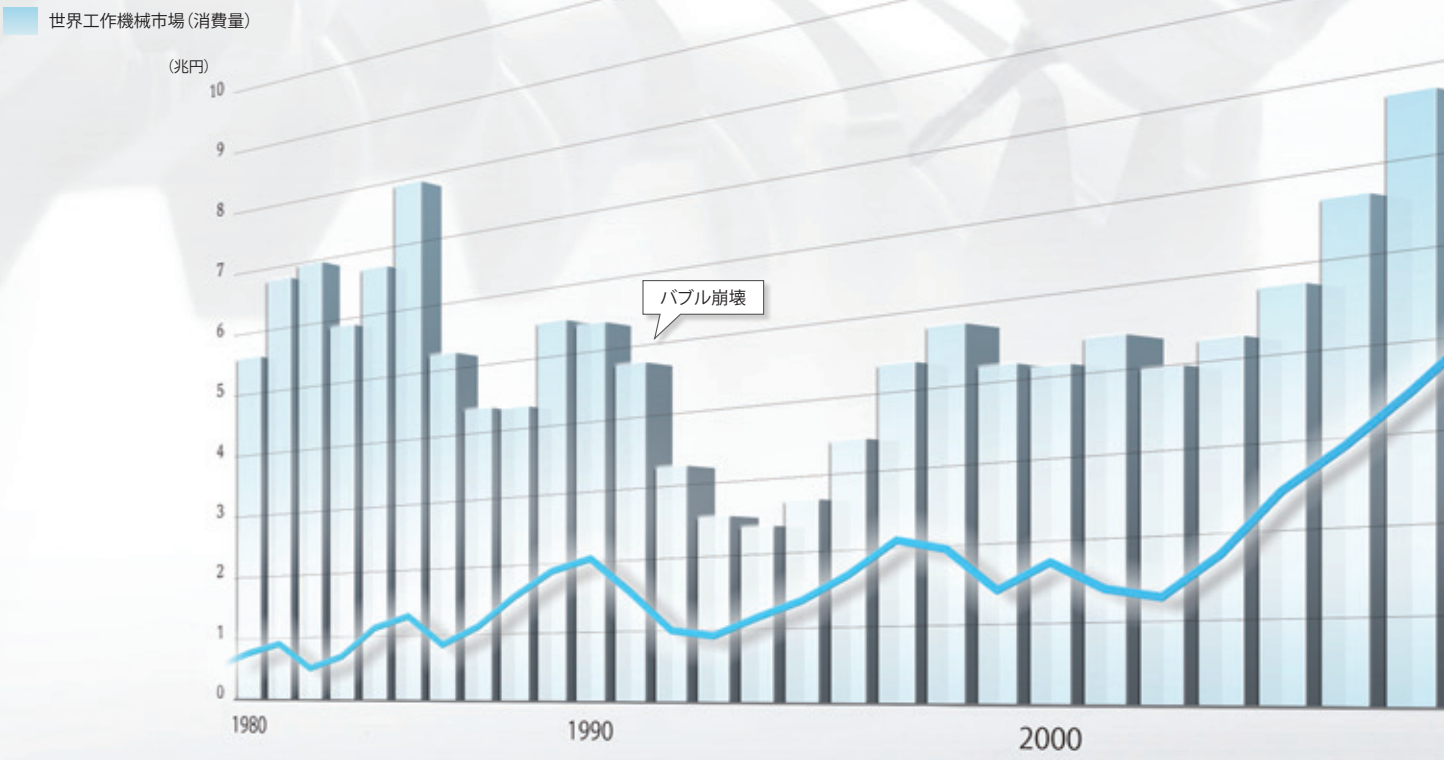
お客様がお困りの、煩雑で手間と時間がかかる段取りなどを一手に引き受け、お客様に一括でソリューションをご提案するために、複雑で高度な加工を簡単かつ短時間で実現できるテクノロジーサイクルを開発いたしました。テクノロジーサイクルは、①工作機械本体、②切削工具や周辺機器などのオープンイノベーション、③組込ソフトウェア、④CELOSなどのヒューマンマシンインタフェース（Human Machine Interface）の4つを融合させた新しいソリューションの形です。テクノロジーサイクルを用いることで、これまで専用機や専用プログラム、特殊な工具で行っていた加工・段取り・計測を、汎用的な工作機械や標準的な工具・治具などで、誰もが簡単かつ短時間で素早い立ち上げと高い品質を実現することができます。例えばテクノロジーサイクルの1つである「gearMILL（ギヤミル）」を用いることで、これまで専用機と専用プログラムが別途必要だった加工から、1台の機械で旋削/ミーリング加工、ギヤ加工による全加工が可能となります。テクノロジーサイクルは、機械の段取りをサポートするハンドリング、高精度な計測を行うメジャリング、複雑加工をサポートするシェイピング、センサで加工を監視・検知するモニタリングの4機能に分類され、お客様の用途に応じて柔軟にご利用いただけます。

バリエーションに富んだ自動化を実現

新開発のRobo2Goを含む、ロボット、ローダ、パレットプールなどの自動化システムから、フレキシブルなプロダクションセル、量産向けの総合的なソリューションまで、お客様の生産内容を分析して、コンサルティング、計画から実装までをサポートします。

Robo2Goとは、DMG MORIが新たにお届けするターニングセンタ用自動化システムです。Robo2Goをターニングセンタの前に運ぶだけで設置は完了し、ワークデータを設定するだけですぐに部品のローディングを自動で開始することができます。制御は全てCELOSで行うため、専門的なロボット知識は必要なく、簡単に立ち上げが可能です。

お客様と共に成長
トータルソリューションプロバイダへ



DMG森精機は1948年に創業し現在に至るまで、常に独創的な製品を生み出し、
世界中のお客様にお届けしてまいりました。
これもひとえに、お客様並びに関係者の皆様のご愛顧の賜物と深く御礼申し上げます。
2009年に資本・業務提携を開始した同業のドイツDMG MORI AGと、2016年には
完全経営統合が完了いたしました。様々なバックグラウンドを持つ約12,000名の社員が、
お客様にとって一番の工作機械メーカー、そしてトータルソリューションプロバイダへ
という目標のもと、同じ方向を向いて歩んでいます。
DMG MORIは、製造業に携わるすべての方に敬意を表し、
これからも頼れるプロフェッショナル集団として、
さらなる成長のために切磋琢磨していきます。

取締役社長
工学博士 **森 雅彦**

※出典：VDW, Gartnerデータベース
※2017年のグラフは予測およびイメージです。

会社概要

2016年12月31日時点

会社名	：DMG森精機株式会社	日本本社	：名古屋市中村区名駅2丁目35番16号
事業内容	：工作機械の製造、販売、サービス	創業地・登記上本店	：奈良県大和郡山市
代表者	：取締役社長　森 雅彦	資本金	：511億円
設立	：1948年10月26日	売上収益	：3,766 億円（連結）
グローバル本社	：東京都江東区潮見2–3–23	社員数	：12,307名（連結）

公式ホームページ
https://www.dmgmori.co.jp/

公式 Facebook ページ
https://www.facebook.com/DMGMORI.CO/

01

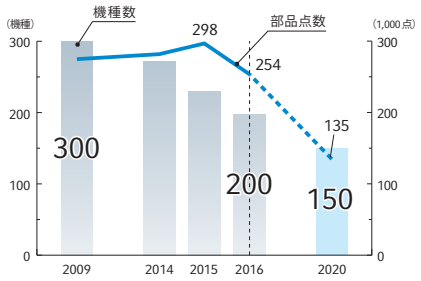
開発・設計

精度とスピードで
お客様のニーズにお応えします

精度良く頑丈で故障せず、使いやすい工作機械を開発するべく、これまで蓄積してきた技術・ネットワーク・データベースを活用しています。ドイツ人が得意とするグランドデザインと大胆さ、日本人が得意とする微細な作りこみと丁寧さを融合させ、日々進化するお客様のご要望にお応えするべく、お客様からいただいたお声を製品開発に展開しています。スピード感を持って製品を生み出しています。

＋ 完成度と開発効率を向上

2009年には約300機種あった製品を、2020年までに約150機種程度に集約していきます。洗練された150機種に最適なソフトウェアや工具を組み入れることにより、引き続き世界最大のラインアップをご提供します。また、部品やユニットの共通化も進めており、2020年までに約13.5万種類まで削減することを目標としています。機種・部品統合で在庫点数を削減することで、完成度と開発効率を向上させ、お客様のニーズによりお応えします。



統合後も世界最大のラインアップ

＋ 機能とデザインの両立

使う人の気持ちを第一に考えたユニバーサルデザインを採用しています。安全性、耐久性、使いやすさとデザイン性を兼ね備えた機械を提供することは、私たちのお客様へのリスペクトの証です。ドアの開口幅を広げることによる接近性の向上や、窓面積の拡大、機内照度の改善による視認性を向上しています。人間工学に基づきオペレーターの操作性を最優先に考えて設計されたプレミアムデザイン、量産に適したステルスデザインを展開しています。

＋ 切削と積層のハイブリッド アディティブマニュファクチャリング機への挑戦

2014年に、レーザ金属積層造形とミーリング加工のハイブリッド機であるLASERTEC 65 *3D*を開発いたしました。1台でレーザ金属積層造形とミーリング加工が可能で、航空機や医療などの複雑形状部品の加工や、部品の修復、耐食・耐磨耗コーティングなどさまざまな用途に威力を発揮します。さらに2017年には、セレクティブレーザメルティング（SLM）に高い技術力を持つREALIZER社を子会社化しました。今後、金属積層分野を網羅し、お客様により新しく付加価値の高いソリューションを提案します。

＋ 国境・部門を越えた開発協力体制

普段日本やドイツ、イタリア、アメリカの開発拠点に分かれて働いている約1,000人の社員がお互いの親交を深めるため、年に一度Global Development Summit（GDS）が開催されています。毎年約150人の開発社員が各地より派遣され、直接顔を合わせて新技術開発について熱い議論を繰り広げています。全体会合にて今後の開発戦略を全員で確認し、その後、専門分野ごとの分科会に分かれて新技術や機種統合、部品の共通化について具体的な議論が行われます。今後も、開発者同士の一体感を高め、開発スピードを加速していくために、一人ひとりの気持ちをつなぐ取り組みを強化していきます。

02

製　造

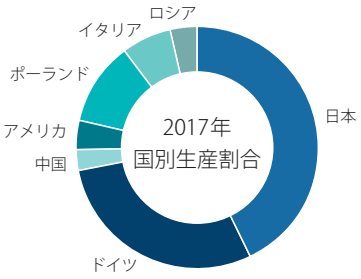
世界中どこでも変わらない高品質な製品を追求します

確かな技術で高い生産性と効率性を実現しています。世界各地で実際に製品をご使用いただいているお客様の声を取り入れて、日々の改善改良を着実に積み重ね、より高い品質を追求しています。厳しい品質検査を実施し、安心安全な製品を全世界にお届けできるよう取り組んでいます。

IoT / インダストリー4.0のコンセプトであるスマートファクトリー化を推進し、作業効率の向上を目指しています。

＋ お客様のニーズに素早く対応

各種ラインアップの需要地での生産を推進し、7カ国14拠点にある生産拠点で、グローバル生産体制を構築しています。これにより、お客様により早く製品をお届けすることができます。また、生産拠点が世界各地にあることで物流費の削減をはじめ、政治不安や為替の急激な変動といったリスクを分散することができ、生産工程への影響を最小限に留める取り組みをしています。



＋ 組立効率の最適化

IoT / インダストリー4.0に対応した工場で、組立状況をリアルタイムに把握できるデジタルマニュファクチャリングを推進しています。組立現場の各作業者は、毎日の組立進捗状況をBHT（バーコード・ハンディ・ターミナル）で入力し、データを無線LANを通じてコンピュータに送信しています。これにより、機械の納期や作業時間を一元管理しています。また、訓練を積んだ作業者が全工程を組立てるセル生産と、各工程の進捗がより分かり易く、工程分割により技能習得が早いライン生産を組み合わせた生産管理体制を機種や工程により使い分けることで、効率的かつ高精度な組立体制を整えています。

＋ 高精度を支える取り組み

年間を通して一定温度を保つことのできる最新鋭の設備を備えた加工工場に、当社製の超大型5軸加工機を導入し部品加工を行っています。また、出荷前の最終段階として品質確認を行う100時間ランニングを実施しており、実施率は全機種において100%*を誇ります。さらに、長年経験を積んだ熟練の技術者が、金属の表面に対してノミ状の工具で平面を削り出していく「きさげ加工」を行った部品を搭載した製品も数多くあります。高い技術を有する社員が日々切磋琢磨した結果、黄綬褒章や現代の名工の受章にもつながっています。

＊ 2016年12月実績

＋ 進化する生産体制

機械の納品後すぐに量産が開始できるよう、複数台でシステム化されたターンキーと呼ばれる案件の需要が増えています。このような需要にお応えするため、奈良事業所に専用工場であるシステムソリューション工場を設立いたしました。最新の測定機器を取り揃え、長さ80 mの生産システムラインが4本設置できる工場には、関係者のみの立ち入りが許可されており、機密性が高く保たれています。お客様のニーズに合わせて、工場や生産体制を随時進化させています。

03

営　業

お客様に最適な製品をご提案します

全世界46カ国、157拠点にセールス＆サービス拠点を配置し、全世界のお客様へ均一なサポート体制を構築しています。お客様への技術提案からお見積提出・ご契約・立会加工・納品・検収に至るまでの一連のプロセスを一貫して支援します。

複数国にまたがるプロジェクトでは各国のエンジニアリング部門とも連携して対応し、幅広い地域・業種・規模のお客様からのあらゆるご要望に迅速にお応えいたします。

＋ 地域の特性、商流に合った販売体制

全世界でその地域や文化、商流に適した販売体制を構築しています。欧州・米州では従来、ディーラー経由の販売をしていましたが、2015年に直接販売・サービス体制への移行が完了し、新たな人材配置、営業・サービス拠点の充実を行っています。
日本・アジアでは地域、ディーラーとの協力体制を引き続き維持・強化していきます。

＋ お客様との交流を生み出す展示会

一度に多くの製品と技術を直接ご覧いただき、最新技術やデモ加工を交えた実践的な技術ノウハウ、さらには業界のトレンドまでをご紹介するために、毎年各地で展示会やセミナーを開催しています。主要地方都市でのプライベートショーから世界中での大規模展示会まで、全ての展示会に注力し、お客様との交流の機会を大切にしています。

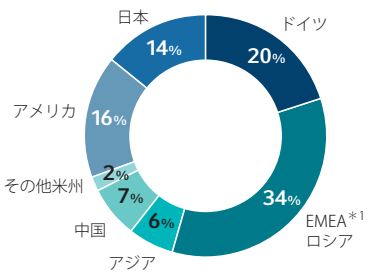
＋ お客様との信頼構築は接遇から

お客様と社員の信頼構築の橋渡しを担っている接遇部署では、日々国内外からのお客様を迎え入れ、工場・ソリューションセンタ案内やおもてなしを行っています。ホスピタリティの視点を欠かさず、目配り気配りを常に大切にしています。滞在中の宿泊や食事に加えて、社内外と連携をとりながら国内視察の企画も手配しています。お客様が限られたお時間の中で、工場見学やデモ加工といったそれぞれのご来訪目的に集中できるよう、社員一丸となって取り組んでいます。

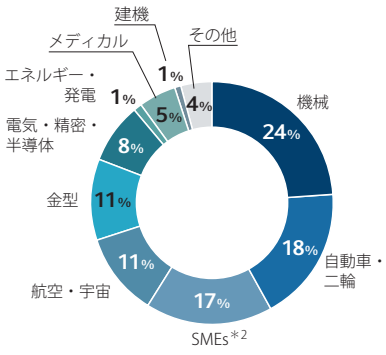
＋ 幅広い地域・業種のお客様へ最適なご提案

欧州を中心に、日本以外での受注が8割を超えており、幅広い地域でバランスよく受注を構成しているのが特長です。業種別受注も幅広く構成されているのは、当社の強みでもあります。自動車、航空・宇宙産業など、多くの業種をカバーしています。また、従業員数100名以下のお客様に大変多く製品をお使いいただいています。

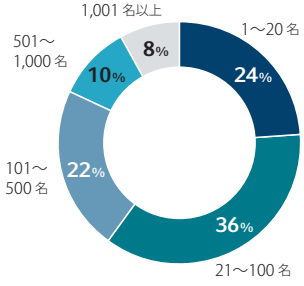
地域別受注構成



業種別受注構成



お客様の従業員数別受注構成

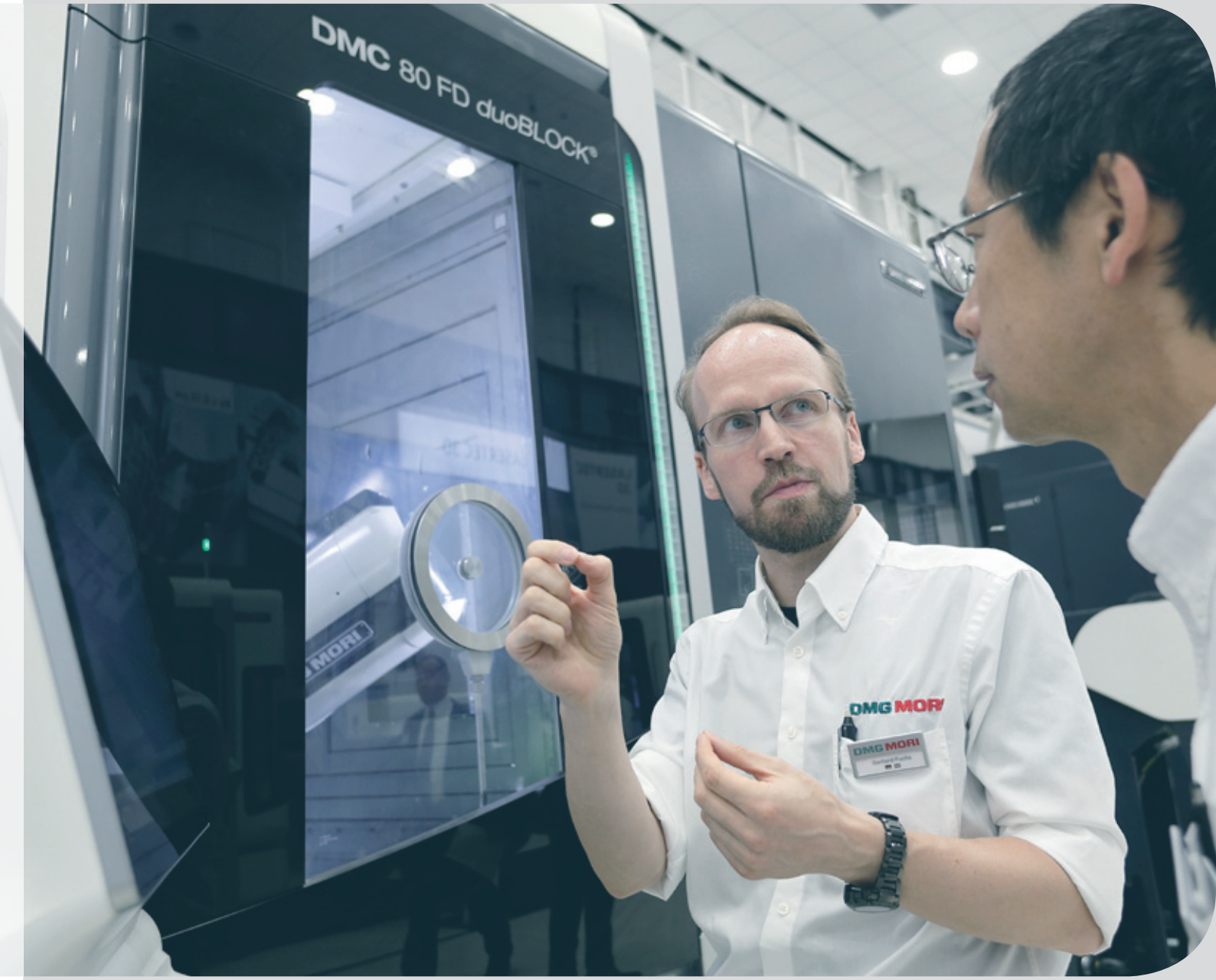


※金額ベース　※機械本体のみ
*1 Europe, Middle East and Africa　*2 Small and Medium-sized Enterprises
［2016 年］

04

エンジニアリング

生産技術に関する
あらゆる課題を解決します



加工技術のプロフェッショナルが、お客様の一人ひとりの声を聞きながら、ご要望通りの「時間」と「精度」で加工を実現するための工程の設計・テストを行っています。お客様が要求される生産効率や精度を達成するため、世界各国のエンジニア、営業や開発部門とも意見交換をしながら、日々、最善の解決策を探求しています。また、お客様の加工プロセスや機械選択が時代や市場のニーズに合っているのかなど、お客様のあらゆる疑問にもお応えしています。これからも社員の知恵や経験を共有・蓄積することで、お客様のあらゆる課題を迅速に解決する体制を整えていきます。

＋ 最新鋭の機械・加工技術をいつでも体感

ソリューションセンタでは清潔感あふれる広々としたスペースに、最新鋭の工作機械と設備を備え、あらゆる加工に対するお客様の課題を共に解決します。世界各地のソリューションセンタでは、最新鋭の工作機械と加工技術を常時ご覧いただけます。英語、ドイツ語、中国語等に対応できるプロフェッショナルなエンジニアがお客様をサポートし、デモ加工やテスト加工の他、ワーク・工具の共同研究など、新しい技術が生み出される実験センタでもあります。

＋ 世界最大の加工技術データベース

2016年2月から社内で共有できる加工技術データベースであるテクノロジーモニタの運用を開始しました。全世界のエンジニアがテスト加工、デモ加工、最新技術、新素材などの情報を登録、閲覧することが可能であり、お互いの知恵を発信し共有するのに役立てています。ワーク、素材、加工技術、加工条件などでデータの検索ができ、このデータベースを活用することで、お客様により高付加価値なソリューションを提供していきます。

＋ 機械導入をサポートするお客様向け研修

お客様の優れた加工技術者育成のお手伝いとともに、機械導入時の立ち上がりをスムーズにするため、各地でお客様向けのスクールを開講しています。近年需要が高まっている5軸加工機も含めて、様々なトレーニングコースを受講いただけます。さらに、お手元のPCからインターネットへ接続し、会社でも自宅でも24時間学習が可能なオンラインの学習システムEducation On Demandサービスもご提供しています。
研修を通して、お客様に当社機械を最大限ご活用いただけるよう努めています。

＋ 機械加工のプロフェッショナルをお客様の元へ

特別な訓練を受けた機械加工のプロフェッショナルであるエンジニアがお客様の元へ出向するレジデントエンジニアサービスを実施しています。レジデントエンジニアがお客様と同じ現場で日々一緒に働くことで、お客様のご要望や課題を深く理解し、迅速かつ的確な課題解決方法の提案、実施を行います。また、お客様の近くで迅速かつ確実なサポートを実施する、高いスキルを備えたレジデントエンジニアの育成に力を入れています。レジデントエンジニアが収集したお客様のご要望を次世代の製品開発にフィードバックすることを通じて、より魅力的な製品作りにつなげています。

05

サービス・パーツ

お客様の安定した生産をサポートします

工作機械は10年、20年にわたってお客様にお使いいただく製品です。そのため、お客様と長期的に強いパートナーシップを築くことが重要です。お客様にご購入いただいた機械が常に最高のパフォーマンスを発揮できるよう、世界中に配置された高い技術を持った社員が、迅速な出張修理やパーツ発送などを世界均質で安定してご提供しています。

＋ 24時間365日 お客様を支え続けるサービスセンタ

お客様からのお問い合わせ窓口であるサービスセンタは、24時間365日稼働し、お客様の問題を電話サポートで解決しています。サービスセンタでは最短ルートでお客様の問題解決を行うために、サービスコール機能を集約し、お客様情報や納入機械情報、お客様の機械修理履歴を日々データベースに蓄積しています。
問題が発生した場合にはサービスセンタから機械の遠隔操作を行うことで、早期復旧を実現します。
電話サポート解決率は75% 以上を達成しています。(2017年3月時点)

＋ 世界3極体制のパーツセンタ

世界各地のお客様に万全のアフターサービスを提供するため、世界3拠点にパーツセンタを構え、3極体制で全世界をカバーしています。奈良、ゲレツリードのパーツセンタではそれぞれ10万点以上、ダラスでは約5万点の在庫を保有し、パーツを即座に発送する体制を整えています。
24時間以内のパーツ発送率は95%以上を達成しています。(2017年3月時点)

＋ 全世界46カ国157拠点で充実したサポート

全世界のテクニカルセンタは、フィールドサービスの拠点です。
サービスセンタからの連絡を受け、最短の時間でお客様の元へ直行するためのシステムを構築しています。
お客様を1件1件直接訪問してご要望をお聞きし、社員一人ひとりがプロフェッショナルとして、お客様の身近できめ細かく対応します。
出張修理が必要な場合はテクニカルセンタから迅速にエンジニアを派遣します。高い技術を持ったプロフェッショナルな社員により、問題をスピーディに解決します。

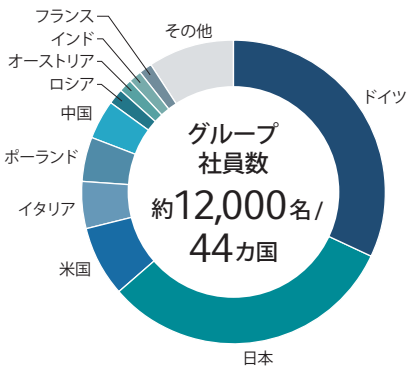
＋ 5年間の無償サービス保証を提供

日本国内で販売する機械の修理・保守サービスは2年間の無償保証をご提供しています。
2016年11月から開始した「セロスクラブ・プラチナ」では、従来のサービスに加えてIoT支援パッケージの付加や6ヶ月毎の定期点検の実施、さらに機械本体の無償保証を5年間に延長いたします。今後は国内に加えて海外のお客様にも満足と安心をご提供するため、より一層サービスを拡充していきます。

※セロスクラブ・プラチナは、DMG MORIの日本国内生産・販売機(CELOS搭載機)が対象です。
※海外は地域により保証期間が異なります。

多様なバックグラウンドを持つ プロフェッショナル集団

DMG MORIでは、様々な言語・国籍・性別・専門分野を持つ44カ国約12,000名の社員が働いています。グループ内のあらゆる分野、あらゆるレベルで、異なるバックグラウンドを持つ者同士が互いに尊重し合い、協力して仕事を進めています。DMG MORIで働く各分野のプロフェッショナルは、それぞれのバックグラウンドは違っても、お客様に対して最高品質のソリューションを提供するという共通の目的を達成するため、互いの良い点を尊重しながら力を合わせて取り組んでいます。



高品質な製品・サービスの提供は丁寧な教育から

DMG MORIで働く全世界の社員一人ひとりの能力を高めるために、製品に関する研修やそれぞれの職種に応じた研修を常時実施し、様々な課題に対応したトレーニングの機会を提供しています。これにより、付加価値の高いソリューションをお客様に提供していきます。

技能研修
基本的な知識・技能・態度（モラル）・安全の教育を実施するとともに、社会人としての常識・マナー指導も実施しています。

サービス研修
当社製品の保守点検業務に従事するサービスエンジニアに、機械の調整やトラブルシューティングなどの保守技能を研修するコースです。

マイスター制度
高度な技能を有し、優れた人格を備えた経験豊富なスペシャリストを「マイスター」として認定しています。

マネジメント研修
若手管理職者を対象に、担当業務のみならず、全社的な見地から物事を判断する経営力を養うための研修を行っています。

製造研修（道場）
製造部門の社員を対象に真の技術者の育成を目指し、技術・技能・モラル・改善・安全意識の向上を図るための研修です。

営業研修
製品知識の増強や、プレゼンテーション能力を向上させるプログラムを実施しています。

多様な働き方により生産性向上を目指す

コアタイム制とシフト制を導入することで、より効率的な働き方の推進、残業削減を目指しています。また、部署ごとに繁忙期や行事を考慮した年間の出勤カレンダーの作成、一日の労働時間のあり方の見直しを行っています。オンとオフのしっかりとした切り替えが仕事の活力につながっています。さらに、DMG MORIで働く約12,000人の社員には、世界中どこでも、自国内ならばどこでも、地域を限定、という3つの活躍の仕方があり、各自の能力と専門性に応じて働き方を選ぶことができます。また、2017年は全社を挙げて働き方改革への取り組みを一層強化します。DMG MORIグループ内にある、ドイツをはじめとしたヨーロッパ社員の働き方をベンチマークし、残業ゼロに向けた意識改革、在宅勤務の拡充、社内託児所の設置、コアタイム制の導入などでワークライフバランス作りを進め、生産性及び効率性の向上に積極的に取り組んでいきます。

社員同士がコミュニケーションを図り気分転換をすることで、新たなイノベーションが生み出されます。社員にそういった機会を提供するために、事業所内に図書館とカフェが設置されました。その他にもスポーツ系や文化系など様々なクラブがあります。日頃の業務では接する機会がない社員とも親交を深めることができ、リフレッシュする場にもなっています。

採用・人材について、詳しくはこちらのホームページをご覧ください。
https://www.dmgmori.co.jp/corporate/recruit/

業界随一の販売・サービスネットワーク。
世界最適地生産を実現するグローバル生産体制。

グローバルヘッドクォータ

DMG MORIのセールス・サービス・マーケティングを
全世界で統括します。

東京（日本）

ナショナルヘッドクォータ

DMG森精機とDMG MORI AGの本社として機能します。

Bielefeld（ドイツ）

名古屋（日本）

生産拠点（海外）

Pfronten（ドイツ）

Seebach（ドイツ）

Idar-Oberstein（ドイツ）
［ザウアー］

Bergamo（イタリア）
［ジタール］

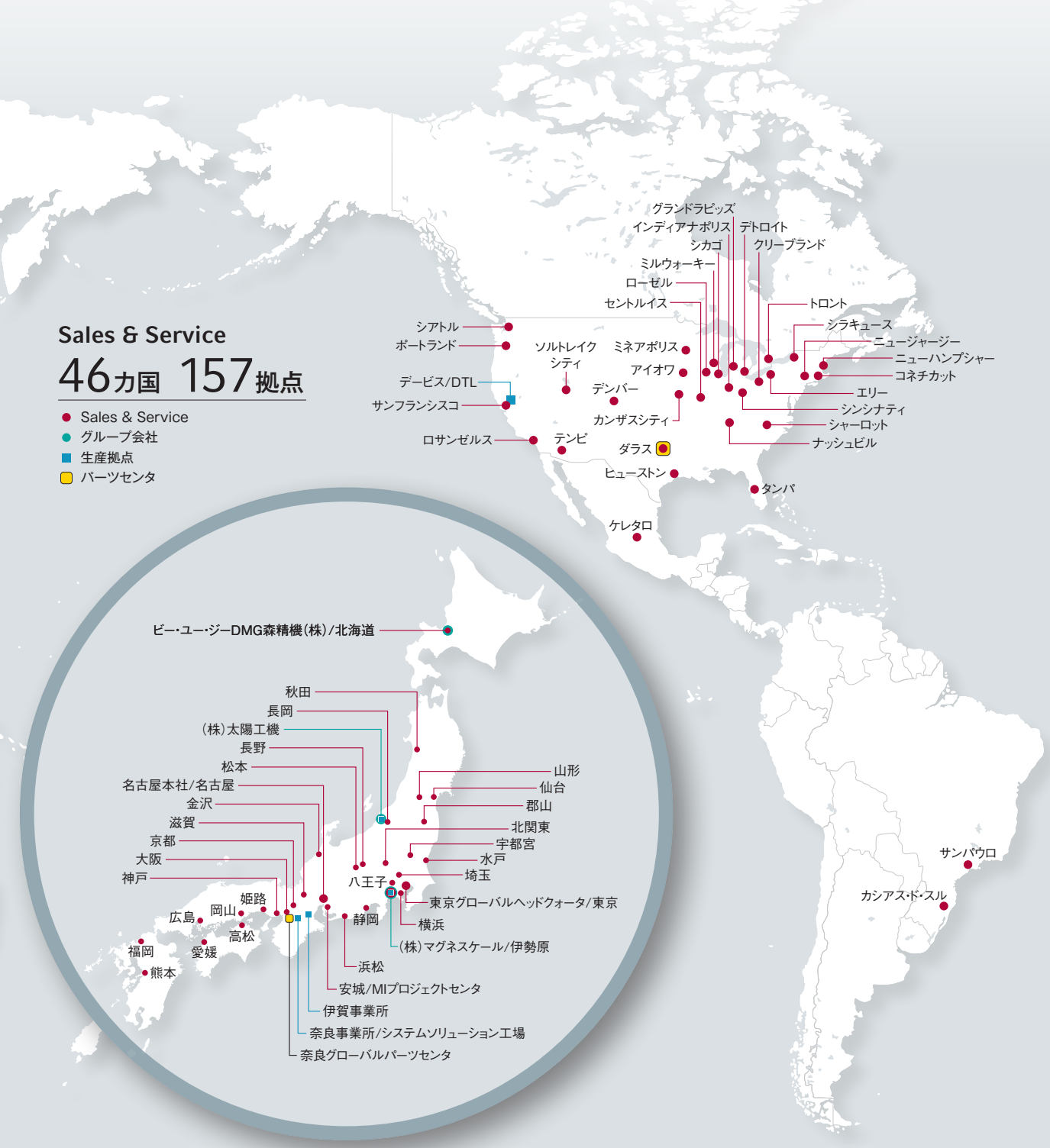
Pleszew（ポーランド）
［ファモット］

Tortona（イタリア）
［グラチアーノ］

Sales & Service

46カ国 157拠点

- Sales & Service
- グループ会社
- 生産拠点
- パーツセンタ



生産拠点(日本)

伊賀

奈良

システムソリューション工場

生産拠点(グループ会社)

Davis(アメリカ)

Tianjin(中国)

Ulyanovsk(ロシア)

太陽工機(新潟)

マグネスケール(神奈川)

TOPICS 01

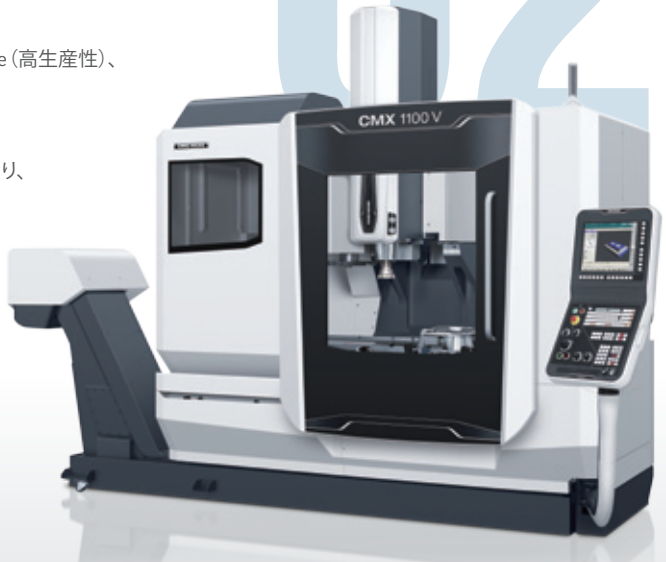
IGA INNOVATION DAYS 2016 JIMTOF2016開催

2016年6月7日から5日間に亘り伊賀事業所にてIGA INNOVATION DAYS 2016を開催しました。会場は連日活気に溢れ、5日間で9,600名を上回る過去最多のお客様にご来場いただきました。さらに、各地域のお客様にお気軽にお越しいただける主要地方都市プライベートショーも随時開催しています。地域とのコラボレーション企画など、そのエリアならではの展示内容が大変好評をいただきました。11月には、17日（木）～22日（火）の6日間で世界最大の工作機械見本市の一つ、JIMTOF2016が開催されました。出展企業中最大となる2,160 m²のブースにて、全機械でデモ加工を行い、専任スタッフが機械の特長と実践的な技術ノウハウをお客様にご説明しました。新機能を含むテクノロジーサイクルの実演や、「IoT / インダストリー4.0 & DMG MORI スマートファクトリー」をテーマに、センサを搭載した工作機械をIoTとしてネットワークにつなげることによる稼働監視や予知保全、新たな付加価値を生み出す「CELOS＋インダストリー4.0」の取り組みをご紹介しました。また、今回で12回目を迎える切削加工ドリームコンテストの作品展示や、パートナーシップを締結しているポルシェのコーナーを設け、スペシャルイベントも実施しました。2017年6月にはIGA INNOVATION DAYS 2017、さらに9月にはEMO Hannover 2017への出展を予定しています。今後も展示会を通じ、実践的な提案でお客様の設備導入をサポートいたします。

TOPICS 02

ソリューションベースマシン CMX Vシリーズが登場

2016年9月、多様化するお客様のご要望にお応えするため、世界最高のベースマシン
CMX Vシリーズの販売を開始しました。
CMX Vシリーズの特長は、3つの「C」＝Compact（省スペース設計）、Competitive（高生産性）、
Customized（多彩なオプション）で表されるその機械コンセプトにあります。
省スペースな機体でありながら、Y軸移動量はクラス最大の560 mmを実現し、
広い加工エリアを確保。加工ワークに合わせて3タイプのサイズをご用意しており、
お客様のワークに合わせて最適な1台をお選びいただけます。
これまでの立形マシニングセンタのオプションを網羅した約290種類もの
オプションを組み合わせることによって各工程の効率化を図ることができ、
従来よりも作業時間を短縮し、生産性を大幅に向上します。
さらに、モジュール化された周辺機器とロボットを組み合わせることにより、
短納期かつ安定した品質の自動化システムの構築も可能です。
多彩なオプションに対応する柔軟性と高性能を兼ね備えた
CMX Vシリーズが、ワンランク上の加工を実現します。



TOPICS 03

日本マイクロソフト社と技術協力で合意

2016年9月に日本マイクロソフト株式会社と工作機械を中心とする制御システムのセキュリティおよびスマートファクトリーの実現に向け、連携して技術協力していくことで合意しました。その背景には、IoT技術を活用しての管理や各種サービスが注目を集める一方、制御システムにおけるセキュリティ対策が喫緊の課題となっていることが挙げられます。

世界最大の工作機械メーカーであるDMG MORIと、幅広くIoTの基盤を提供し、グローバルレベルでの多岐にわたるセキュリティ対策の実績を持つ日本マイクロソフト社が、それぞれが持つノウハウを結集することで、今後製造現場が直面するさまざまな課題の解決に向けて取り組んでいきます。

TOPICS 04

ポルシェに高精度の機械と最高のエンジニアを提供

2014年より続くポルシェとのプレミアムパートナーシップを、2017年もさらに強固なものにしていきます。
2015年には、第83回ル・マン24時間レースにおいて1位と2位を独占、さらにFIA世界耐久選手権で4連勝を果たしました。
2016年には、マーク・ウェバー率いる1号車が、ドイツ、メキシコ、アメリカ、中国戦で1位に輝き、ポルシェは2年連続でマニュファクチュアラーチャンピオンシップを獲得しました。
これらの偉業の達成にはDMG MORIが提供した技術とノウハウ、高精度な工作機械が大いに貢献しています。
今後もDMG MORIとポルシェチームは、強力で信頼できるパートナーとして、さらなる高みを目指して技術革新に努めていきます。

TOPICS 05

トヨタ自動車とパートナーシップを締結

2016年9月にトヨタ自動車株式会社と、2017年FIA世界ラリー選手権（WRC）において、パートナーシップを締結しました。WRCは、FIA主催の世界各国で行われるラリーの世界選手権でF1世界選手権や世界耐久選手権と並ぶ最も権威あるモータースポーツの一つです。ラリー・モンテカルロ、ツール・ド・コルスをはじめ世界で大変人気があります。今回のラリーカーに搭載されるエンジンは、当社製品が多数納品されているToyota Motorsport GmbH(ドイツ・ケルン市)で製造されており、実際に当社製品で加工した部品も多数搭載されています。
今後もWRCにおいて、製造業のシステムインテグレータとして引き続き自動車業界に強くコミットし、ラリーを通じた「もっといいクルマづくり」に貢献していきます。

Magnescale

マグネスケール

マグネスケールの提供する製品は、高い耐環境性と高速性、高精度・高分解能を有し、今日まで工作機械の進化を支え続けてきました。また、レーザスケールは次世代の半導体製造や、デジタルカメラのレンズをはじめとする光学部品の金型カット工程など、超高分解能を要求される分野では無くてはならない製品で、次世代の技術革新に貢献しています。

半世紀近い磁気式計測技術の歴史を持つソニーマニュファクチュアリングシステムズの計測機器事業部門を譲り受け、当社の完全子会社として株式会社マグネスケールが2010年4月に発足しました。

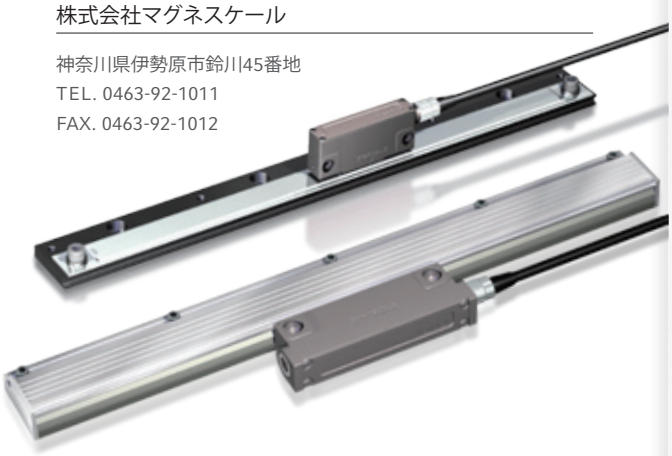
2011年には工作機械向けマグネスケールの主力工場として、建物面積4,800 m²の伊賀事業所を設立し、月産2,000軸体制を確立しました。

DMG MORIは、この優れた製品マグネスケールを工作機械に積極的に搭載していくことにより、さらなる高分解能な製品を提供していきます。

また、新しい計測機器・計測制御システムの提案を通じて、様々な計測ニーズにお応えしていきます。

株式会社マグネスケール

神奈川県伊勢原市鈴川45番地
TEL. 0463-92-1011
FAX. 0463-92-1012



スマートスケール

世界初、エアパージを必要としない防塵・防水性能を備えたオープン型高精度・高分解能アブソリュートマグネスケールを発売。ヘッドとスケールが分離したシンプル構造で取り付け許容が±0.1 mmと広いにも関わらず、分解能0.005 μmを実現。

- 防塵・防水規格IP67
- 最大応答速度200 m/min
- 最高分解能0.005 μm
- 耐振動250 m/s²

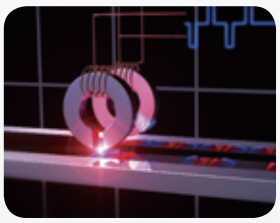
伊勢原工場 研究開発拠点

半導体製造装置など最先端の超微細化技術に貢献するレーザスケールの生産拠点であり、またマグネスケールも含めた新技術、新製品、製造技術の開発も担っています。

伊賀工場 振動フリーの精密工場

工場は特殊な免振装置による無振動を実現し、精密測定の環境を整えています。工作機械向けマグネスケールの量産工場として耐久性に優れた直線・回転スケールの生産を行っています。

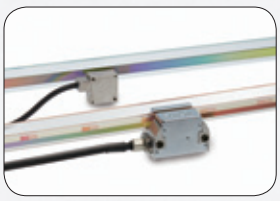
Magnetic technology（磁気応用技術）



磁気スケール記録イメージ

工作機械の高精度位置決めに使用されるマグネスケールは機械本体と同じ線膨張係数を持っているので、温度変化にもフレキシブルに追従します。マグネスケールは世界で初めて絶対位置信号を出力する磁気式アブソリュートスケールを実現しました。

Laser technology（レーザ応用技術）



レーザスケール BF1、BS78

レーザスケールは最高分解能2.1 pm*を誇る世界最高峰のスケールです。主に半導体製造装置やナノ加工機といった超高精密位置決め分野で使用され、最も高分解能なスケールとして世界中で高い評価を得ています。

＊1 pm（ピコメートル）は10億分の1ミリメートル

設計・開発

機構設計

スケールは、工作機械の高精度化に伴って、常に進化することが求められます。お客様のご要望にお応えするため超精密ロードマップを作成し、これを実現するために物理・化学・電気・機械・ソフトウェアのエンジニアが協力して研究・開発に取り組んでいます。

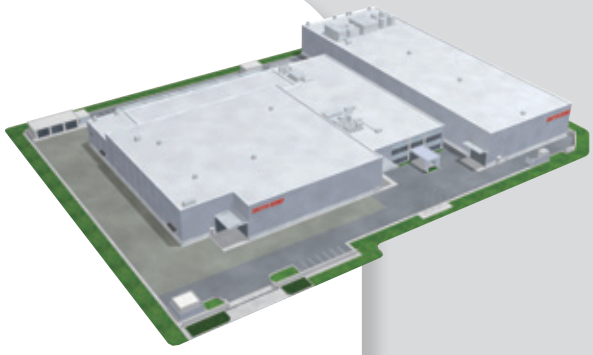
製造・品質管理

クリーンルーム内での作業

高品質の製品をご提供できるよう、超高精度の恒温室、精度測定装置、クリーンルームなどの各種設備を有しています。設計から製造に至るトータルな品質管理体制を確立し、厳しい国際規格にも適合しています。

TAIYO KOKI
THE GRINDING MACHINE COMPANY

太陽工機

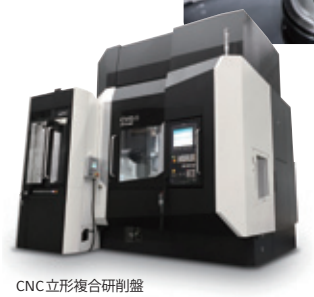


太陽工機は作業性の効率を追求し、1999年に立形研削盤を開発しました。
これからも太陽工機の研削盤は、確かな精度・剛性を備え、省スペース・
フレキシビリティ・オートメーション化など様々なメリットをご提供し続けます。

多彩なバリエーション

量産部品対応の小型機から多品種少量向けの大型機まで多くの機種を用意し、世界中のお客様から高い評価をいただいています。また、製品企画において市場ニーズを踏まえて行う提案型と、お客様の要求にお応えする対応型の両立を実現することで、製品化に最も効果的なアプローチを行っています。

高生産型CNC立形研削盤
PGV-3



CNC立形複合研削盤
CVG-6

株式会社太陽工機

新潟県長岡市西陵町221-35
TEL. 0258-42-8808
FAX. 0258-42-8810

BUG
DMG MORI

ビー・ユー・ジーDMG森精機

ビー・ユー・ジーＤＭＧ森精機は、1980年に北海道大学発ＩＴベンチャーとして札幌に設立、ハードウェアとソフトウェアの両方をカバーする高い技術力を背景に、コンピュータに関する最先端の技術開発を行っています。
2008年にDMG森精機のグループ会社となり、DMG MORIで共同開発したCELOSおよびMAPPS Vなど操作性が高く競争力のある次世代オペレーションソフトウェアの開発を通じ、より使い易く生産性の高い工作機械の実現に貢献しています。
また、実績のあるネットワーク機器や組込ソフトの開発での強みを活かし、今後ますます重要度を増すIoT関連の技術開発の研究開発も推進しています。

ビー・ユー・ジーＤＭＧ森精機株式会社

北海道札幌市厚別区下野幌テクノパーク1丁目1番14号
TEL. 011-807-6666
FAX. 011-807-6645

MORI SEIKI

1950 1980 2000

事業沿革

1948
奈良県大和郡山市において、
繊維機械の製造・販売開始

1958
繊維機械を中止し、工作機械
（高速精密旋盤）の製造・販売開始

1970
伊賀工場建設・操業開始

1979
大阪証券取引所2部に上場

1981
東京証券取引所2部に上場

1982
MORI SEIKI GmbH 設立

1983
MORI SEIKI U.S.A., INC. 設立
＜現DMG MORI U.S.A., INC.＞
伊賀第1工場本格稼働開始
東京・大阪両証券取引所1部に昇格

1987
奈良本社事務所完成
奈良工場本格稼働開始

1992
伊賀第2工場稼働開始

1997
伊賀第2工場精密棟操業開始

1999
名古屋ビル完成（現名古屋本社）
ISO9001認証取得

2000
デジタル工学研究所（DTL）設立
＜現DMG MORI Digital Technology Laboratory Corporation＞

2001
ISO14001認証取得
MORI SEIKI SHANGHAI CO., LTD. 設立
（株）太陽工機を子会社化

2002
24時間365日サービスサポート開始
旧日立精機の事業を継承
森精機グループの企業として営業開始
OHSAS18001認証取得

2003
千葉事業所操業開始

2004
人材開発センタ設立
＜現DMG森精機アカデミー＞
名古屋へ本社機能移転

製品沿革

1960
高速精密旋盤の輸出開始

1968
数値制御装置付旋盤の製造・販売開始

1976
NC旋盤の日本のシェア業界第1位

1977
SL-2開発

SL-2

1981
立形マシニングセンタの製造・販売開始

1983
横形マシニングセンタの製造・販売開始

1994
SH-50開発

SH-50

2000
SH junior開発
MTシリーズのラインアップ拡充
CAPS-NET運用開始

2003
重心駆動開発
ダイレクト・ドライブ方式モータ開発
NV 4000 DCG、NH 4000 DCG開発
ハイデンハイン社製CNC搭載機、欧州市場投入

2004
ビルトインモータ・タレット搭載
NLシリーズ開発

NL 2000

1870
機械工Friedrich Gildemeisterが
Bielefeldにて創業

1906
Wilhelm Bergが最高経営責任者に
この頃から、工作機械の量産を開始

1910
主力製品として、タレット旋盤、
多軸自動旋盤、フライス盤、
立形および横形フライス盤に集中

1928
多軸自動旋盤（POX）を発表

1950
ハノーバー見本市で、
旋盤RV50を発表

1961
現在のゼンネシュタット地区に
新工場を建設、操業開始（1965年）

1975
EMOショーで、同社初の
NC制御タイプの旋盤（NEF）を発表

1995
DECKEL MAHO AGを買収し、
フライス・ドリル製造の事業を
軌道に乗せる
※DECKELとMAHOは1993年に統合

1998
売上高が初めて10億マルクを突破
（当時の平均レート 1マルク=70円）

1999
LCTec GmbH（現SAUER）の
買収によって、レーザ技術分野に参入

2000
かつての子会社ギルデマイスター
イタリアが傘下に復帰

2001
SAUER GmbH & Co.KG社への
出資により、超音波加工の分野へ参入

2002
Seebachの新工場がドイツにて最高の
工場であるTM-Industrial Excellence
Award 2002で優勝

2003
日本ディエムジー（株）が横浜に
テクノロジーセンターを開設
アジアで初の生産工場を上海に設立

GILDEMEISTER

1870 1950 1980 2000

2005

2005
伊賀事業所に熱処理工場を建設

2006
伊賀事業所に鋳物工場を建設

2007
(株) 秋篠金型研究所設立
<現DMG森精機金型研究所 (株) >
DIXI machinesを子会社化

2008
TOBLER S.A.S.を子会社化
(株) ビー・ユー・ジーを子会社化
<現ビー・ユー・ジーDMG森精機 (株) >

2009
東京支社開設
DMGと資本および業務提携

2010
ソニーマニュファクチュアリング
システムズ社の計測機器事業を譲受、
(株) マグネスケールとして子会社化

2011
(株) 森精機セールスアンドサービス設立
<現DMG森精機セールスアンドサービス (株) >

2012
伊賀事業所にベッド・コラム精密加工工場を建設
北米工場 (カリフォルニア・デービス市) を建設

2013
天津工場 (中国・天津) を建設

2009
統一操作盤MAPPSを
全面リニューアル、
MAPPS IVとして新機種より搭載開始

2010
新シリーズ「X class」
NLX、NVX、NHX、NTXシリーズ開発

NLX 2500

2011
NTX 2000を開発
NZXシリーズを開発
MILLTAP 700をDMGと共同開発

NTX 2000

2012
NVX 5000 IIシリーズを開発

NVX 5080 II

2013
NHC 4000、NHC 5000を開発

2005
NVD 1500 DCG開発
NTシリーズ開発

2006
NMH 6300 DCG開発
NMV 5000 DCG開発

2007
NZシリーズ開発

NZ 2000 T3Y3

DMG MORI

2009年3月
DMGと森精機の資本業務提携開始

2010年9月/10月
IMTS・JIMTOFにて共同ブースで出展

2012年1月
スイスにDMG MORI SEIKI Europe AGを
設立<現DMG MORI Europe AG>
欧州全域で共同販売、サービスを開始

2013年8月
ジョイントコミッティー発足

2013年10月
社名統一

2014年3月
ポルシェチームとパートナーシップを締結

2014年7月
東京グローバルヘッドクォータ稼働

2015年7月
世界最大の伊賀グローバル
ソリューションセンタ誕生

2015年9月
ウリヤノフスク工場 (ロシア) 稼働

2015年12月
NLX 6000を開発

2016年1月
奈良事業所に
システムソリューション工場を設立

2016年2月
テクノロジーサイクル発表

2016年8月
ドミネーション・アグリーメント発効

2009年
協業開始

2013年
社名統一

2015年
連結企業として
一体経営開始

2016年
完全経営
統合

2017

2005
DMGアジア
スペアパーツセンターを設立

2008
新しいデザインを採用

2013年9月
EMO Hannover 2013にてCELOSと
プレミアムデザイン機を世界初公開

CELOS (ERGO*line*)　SLIM*line*　COMPACT*line*

2015年4月
国際会計基準 (IFRS) の適用
決算期変更 (4～12月の変則決算)
DMGとの連結企業化
DMG森精機ワシノ(株)を設立

2015年6月
NRX 2000を開発
A 150シリーズを開発
G 100シリーズを開発

CMX 1100 V

2016年9月
CMX Vシリーズ
販売開始
日本マイクロソフト社との
技術協力に合意
トヨタ自動車とFIA世界ラリー選手権
(WRC) でのパートナーシップを締結

2017年2月
金属積層分野
パウダーベッド市場に参入

2011
HSCセンターを開設

2012
Seebachの工場を増設

2005

さらなる技術革新のために
オープンイノベーションを推進しています

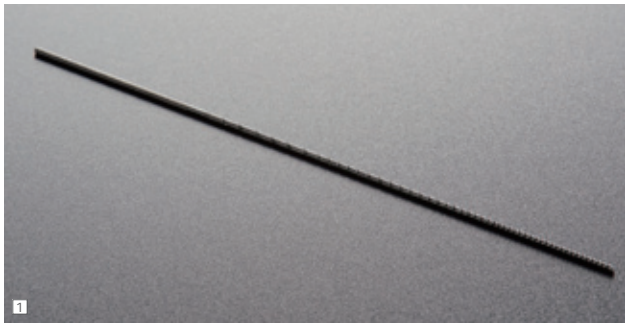
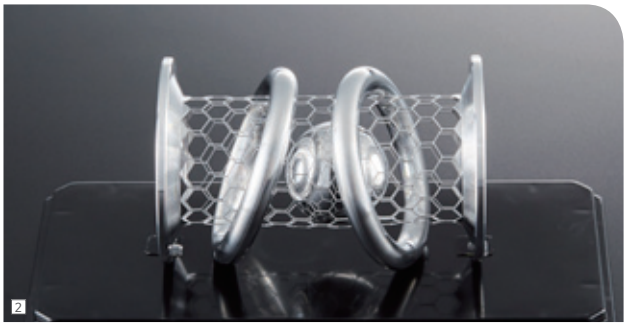
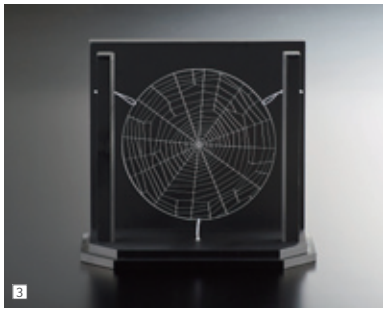
■ 切削加工ドリームコンテスト

切削加工技術・技能の発展に貢献

切削加工ドリームコンテストは、日本国内において切削加工に携わり、切削型工作機械を使用している企業および学校、研究機関を対象に、切削加工業界全体の技術・技能の交流と向上を目的として、2004年から12回開催しています。国内にとどまらず、2006年からは米国、2007年には欧州でも開催しており、好評を博しています。審査委員に大学教授をお迎えし厳正な審査を行い、多数の応募作品の中から製品部品加工部門、試作・テスト加工部品部門、金型・造形加工部門、微細加工部門、アカデミック部門の5部門で受賞作品を決定しています。第12回ドリームコンテストの受賞者への表彰式は、2016年11月に開催されたJIMTOF2016と同時に行いました。受賞作品は伊賀グローバルソリューションセンタにて常設展示しており、国内・海外の各地から当社にご来訪いただいたたくさんのお客様に作品をご覧いただいています。

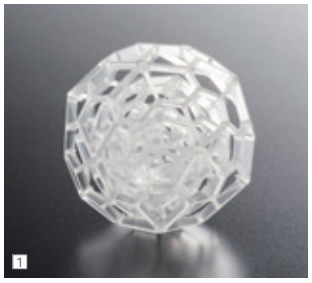
【第12回切削加工ドリームコンテスト受賞作品】

金賞

1 波動の相性　2 Turning in the deep　3 蜘蛛の巣　4 ヘリカル歯車ユニット　5 削りだし伸縮カップ

銀賞



1 五角六十面体　2 どげんナットーとぉ?　3 不思議なVの字（プリズム付きオペラグラス）　4 Wワイヤーフレームinスター（外れることのない独立した3つの形状）　5 ロードセル

■ 森記念製造技術研究財団

工作機械産業の発展に貢献

加工技術やヒューマンマシンインタフェース技術、環境保全技術など、工作機械に関連する技術の向上及び革新を通じて、工作機械産業の発展及び地球環境保全に貢献することを目的とし、研究開発支援及び人材育成支援事業を行う一般財団法人です。産業界と行政機関、及び大学等の研究機関に対して協力関係の強化を図り、日本をはじめとしてグローバルに貸与や寄贈を行っています。各国の研究機関とのネットワークを通じて人材育成を支援することは、新興国も含めグローバルな産業の発展に寄与するものと考えます。併せて、当社が事業拠点とする奈良県及び三重県を中心とする地域の文化的な環境構築に関連する事業の支援を行ってきました。今後も、企業としての信頼性をより高めるため、地域社会とのつながりを深めていきます。

■ MTTRF（Machine Tool Technologies Research Foundation：財団法人工作機械技術研究財団）

MTTRFを通じた研究助成活動

MTTRF Machine Tool Technologies Research Foundation

MTTRFとは、2002年10月よりDMG MORIと国内外の企業の寄付により運営されている米国政府公認非営利財団法人です。DMG MORIはこのMTTRFを通じて、国内外の大学や研究機関の研究者への工作機械の貸与や、年次総会時の講演会開催といった活動を行っています。DMG MORIは産業社会の技術発展のために、MTTRFを通じた研究助成活動を積極的に行っていきます。また2013年7月にはバークレー・インスティチュートが、産官学における実用的な協力関係の強化と教育や研究活動を通じて優れたエンジニアを育成するための機関として開設されました。

寄贈・貸出先（大学・研究機関）	
米国	カリフォルニア大学バークレー校
	カリフォルニア大学デービス校
	ウィスコンシン大学マディソン校
	ノース・カロライナ大学 ― シャーロット
	MTTRF バークレー・インスティチュート

寄贈・貸出先（大学）	
ドイツ	ブレーメン工科大学
アイルランド	ユニバーシティ・カレッジ・ダブリン
スイス	チューリッヒ大学
イタリア	フィレンツェ大学
オーストリア	ウィーン工科大学
ベルギー	ルーヴェン・カトリック大学

寄贈・貸出先（大学）	
日本	神戸大学
	金沢大学
	大阪工業大学
	豊橋技術科学大学

合計：14大学＋1研究機関

■ 先端技術研究センター

人材育成の推進

IoTなどのデジタル革命を主導する人材の集積、時代に求められる顧客価値と社会的価値の創成、人材育成を目的として、2017年1月に先端技術研究センターを東京グローバルヘッドクォータに設立しました。関東地区をはじめとする学生の研鑽の場所となるよう、長期のインターンシップも積極的に受け入れ、優秀な人材の育成・支援をしていきます。

■ 俯瞰工学研究所

研究活動を支援

俯瞰工学研究所とは、2010年1月に設立された一般社団法人です。東京大学の俯瞰工学研究室の研究成果を引き継ぎ、知の俯瞰、技術の俯瞰、経済の俯瞰、社会の俯瞰をすることで、現在の自己の立ち位置を再確認し、明日の行動を考え、そして元気に未来に挑戦する人々が集う場所です。今後もこの活動に賛同し、様々なサポートを続けていきます。

■ 奨学基金

学生支援として奨学基金の設立

東日本大震災の被災国立高専学生を支援

東日本大震災の復興支援の一環として、2011年にDMG森精機奨学基金を設立しました。被災地の国立高等専門学校生に対する就学支援を目的としており、運営は独立行政法人国立高等専門学校機構が行います。内容は、10年間にわたって月額1人5万円（年間60万円）を支給するというものです。国立高等専門学校の学生の皆さんが、将来日本の製造業を担う人材となってくれることを期待し、サポートしていきます。

インド工科大学、奨学基金の設立

2008年に東京大学と共同で、インド・ハイデラバード市にあるインド工科大学の学生を対象に、DMG森精機 IIT奨学基金を設立しました。多くの学生が、機械や電気、航空などの各専門分野で知識を深め、将来インド・日本を含む世界中で活躍することを期待しています。

環境・地域を大切にしています

■ 環境保全活動

工作機械の省エネは世界の環境を変える

もともと工作機械は地球環境を汚さない、クリーンな機械です。使用年数が15～20年と長い分、省エネの効果は長期にわたり影響します。納入実績15万台以上の当社では、製品そのものの電気消費量削減、工場の省エネルギー化で、工作機械１台あたり年間2,650 kgCO_2を削減し、地球環境保護に努めてきました。それに加えた梱包・物流改革で、さらなる木材使用量やCO_2の削減に取り組んでいます。

自社製の包装をリユース

これまで機械輸送時に一度だけ使用され、その後廃棄処分されていた木材での梱包を見直しました。海外輸送にはリターナブルパレット、国内輸送にはスチール梱包に変更したことで、国内外あわせて約4,900トンの木材削減を達成いたしました。お客様からご発注いただいた大切な製品を、最高の工作機械にふさわしい形でお客様のお手元まで大切にお届けしたいという思いから、自社ブランドロゴ「DMG MORI」記載の自社製シートで工作機械を“包装”しています。梱包シートを自らマネジメントするメーカーはDMG MORIが日本で初めてです。

物流改革でCO_2削減

東海地区に点在するパートナー22社の生産部品を、専用トラック便で集約輸送することにより、パートナー各社の単独輸送と比べ、大幅なCO_2排出量削減を達成しました。今後、関西地区にも集約体制を拡大していきます。

■ 広報誌「つながり」

「つながり」の視点から情報を発信

2012年1月に社会や企業を支える「つながり」を基本コンセプトにした広報誌を創刊しました。モノができるまでのプロセスやモノの歴史をひも解くとともに、「つながり」の視点、物事を俯瞰する視点から、あるべき社会を模索していきます。また、モノと人をつなぐ重要な要素として感性に訴えるデザインにスポットを当てていきます。

※ 当社HPで電子ブックを閲覧いただけます。

■ 音楽活動への支援

ピアノコンサートへの協賛

2012年から毎年、奈良県においてピアノを主役とした新しい音楽祭Nara Piano Friends「ならピ」が開催されており、このコンサートに特別協賛しています。また2015年より、欧州を拠点に活躍されているイギリス在住のピアニスト、アドルフォ・バラビーノ氏と川島美樹さんによるピアノ・リサイタルにも協賛しています。バラビーノ氏は2014年の「ならピ」に外国人アーティストとして初めて招かれ、日本の様々なジャンルのピアニストと共演しています。2016年の本リサイタルは東京、名古屋、奈良の3会場で開催されました。

Nara Piano Friends「ならピ」

アドルフォ・バラビーノ ピアノ・リサイタル

■ 地域貢献

創業の地・奈良での文化活動

1948年に奈良県大和郡山市で創業して以来約70年間、地元奈良とのふれあいや文化振興を大切にしてきました。
今後もこの地域に根付いた文化活動を積極的に支援していくことで、地域とのつながりをより強めていきます。

奈良県との連携と協力に関する包括協定を締結

2017年3月には、古都奈良らしい景観づくり、高度な技術系教育の促進、外国人技術者および研究者に対する支援を目的として、奈良県との包括協定が締結されました。今後、菩提仙川堤体での桜の植樹や工業高等学校等の教育機関への最新鋭の工作機械の貸し出しなどを積極的に行っていきます。

包括協定締結の様子

記者会見

DMG MORIやまと郡山城ホール

大和郡山市民に親しまれてきたホールのネーミングライツを取得し、2017年1月に「DMG MORIやまと郡山城ホール」が誕生しました。今回のネーミングライツ取得により、ホール設備の維持・向上の一助となり、さまざまな文化の発信地となることを期待しています。

外観

テープカットの様子

古都奈良の文化財

春日大社、興福寺など、奈良の歴史ある神社仏閣の再建にも協力しています。

素材提供：春日大社

素材提供：奈良市観光協会（興福寺）

スポーツ

スポーツの分野ではプロバスケットボールチーム「バンビシャス奈良」、プロサッカーチーム「奈良クラブ」をスポンサーとして支援しています。

素材提供：バンビシャス奈良

素材提供：奈良クラブ

DMG MORI